【岡山大学】産学共創活動「岡山大学オープンイノベーションチャレンジ」2022年10月期 共創活動パートナー募集開始



企業や自治体などが大学と共にビジョンを形成から考え、学内活動で研究シーズ&ニーズマッチングを実施。新たな価値を提供できる新規事業創出($0\rightarrow1$)と既存事業育成($1\rightarrow10$)を目指す活動です!

★☆★社員研修や経営・事業企画、新規事業のご担当者、そして経営陣のみなさま★☆★ SDGsやDX推進、カーボンニュートラル、脱炭素、そしてコロナ禍......従来の企業経営や事業運営ではままならない今の時代。経営陣や社員のみなさんがいろいろなシンポジウムやセミナー、展示会に顔を出し、資料やパンフレット、名刺を集め、レポートにまとめ、会議で紹介する。それで終わっていませんか?

肝心なビジョン形成やシーズ・ニーズマッチングなど、人材を含めた企業全体の変革は進んでいるでしょうか?

「岡山大学オープンイノベーションチャレンジ」は、そんな悩みを解決するひとつの手段を提供します。ビジョン形成から大学の叡智を提供し、企業と共に創り上げ、プロジェクトを進めて行きます。ビジョン形成も自前主義を脱し、多様な学術領域の最新の研究を行う教員を有し、またいろいろな産学官出身者が大勢いる大学という組織を利活用して、今までにない価値を社会に提供することを共に目指してみませんか!

◆概 要

国立大学法人岡山大学(本部:岡山市北区、学長:槇野博史)は、「岡山から世界に新たな価値を創造し続けるSDGs推進研究大学」を掲げ、2019年6月

に「岡山大学オープンイノベーション機構」(岡大01機構)を設置し、

戦略的・組織的産学共創の強化から社会実装の加速を目指しています。さらに2021年10月

からは、内閣府の「国立大学イノベーション創出環境強化事業」の採択・実施に伴い、アジャイル的な研究マネジメント組織「岡山大学イノベーションマネジメントコア」(略称:IMaC)へと組織改編を実施し、研究力強化とイノベーション創出の強化推進を行っています。

岡大01機構の取組のひとつに、企業等と大学の担当者がタッグを組み、共に考え、ビジョンを形成し、学内活動を通じてマッチングを行い、プロジェクトを創り上げていく産学共創活動「岡山大学オープンイノベーションチャレンジ」(岡大01チャレンジ)を実施しています。

岡大01チャレンジは、新しいビジョン形成や企業ニーズと大学シーズの掘り起こし、予想しない

新知見の獲得などから既存事業育成(1→10)だけではなく、新規事業創出(0→1)などに取り組める「共創の場」を手にすることができます。

また、社員や幹部職員等に対するSDGs教育やそのビジネスマネジメントなどを学ぶよい機会ともなります。

今回、<u>2022年10月</u>期の岡大0Iチャレンジ共創活動パートナーを<u>0022年10月1日</u>から募集しております。ご関心のある企業・団体・自治体等のみなさまのお問い合わせを心よりお待ちしています。

◆岡山大学オープンイノベーションチャレンジ(岡大01チャレンジ)とは?

企業等と大学の担当者がタッグを組んで共にプロジェクトを創り上げて活動する「産学共創活動」のひとつです。産学共創活動における、「ビジョン形成・マッチング活動」→「マッチング(共同・受託研究)」→「共同研究の大型化」の行程の中で、入口となる「ビジョン形成・マッチング活動」の領域を学内産学共創活動で強化する、これまでにない新しい取組です。

例えば企業が既存事業育成(1→10)などを行う際、大学のあらゆるシーズを探索しますが、これまでは大学担当者が提示したシーズを企業担当者が照らし合わせる「仲人のお見合い形式」のようなもので、うまく行かないこともありました。また企業の新規事業創出(0→1)を模索する際は、明確な企業側のビジョンやニーズが固まっていない時もあり、その際は大学や研究者らにどのようにアプローチすればよいのか悩みます。

岡大0Iチャレンジでは、ビジョン形成とニーズとシーズのマッチングからどのような新たな価値を生み出し、社会に提供できるのかなどの「共に創り出す(共創)」を起点に置き、企業と大学の担当者がユニットを結成し、タッグを組んで「学内活動(学内産学共創活動)」を行います。

まずは共にビジョン形成を行い、プロジェクトを作り上げ、その中で「企業→研究者」、「研究者→企業」の双方からの課題や案などの提示・検討を行う「共創ピッチ」を開催、よりよい産学 共創を生み出します。

特にビジョン形成を行う際、コンサルティング企業に多額の経費を支払ったり、自社リソースのみで時間を掛けて調査したりという形が多かったですが、多様な学術領域の最新の研究を行う教員を有し、かつ産学官出身者が大勢いる大学組織と共にビジョン形成を実施することで自社のビジョンや事業戦略を客観的に捉えることができます。またこれまで企業は勝手に大学内で調査や営業活動を行うことができませんでした。大学担当者と共に学内活動を行う「共創の場」を得ることで、より多くの研究者との出会いや新たな知見の発見などに結びつき、事業運営などにも大いに役立ちます。

<岡山大学オープンイノベーションチャレンジの企業等のメリット>

新規事業やSDGsなど、これまでにない取組を実施するにあたり、自社リソースだけではなく、大学という多種多様な人的・物的リソースを活用することができます。

企業ニーズ内容を的確に大学担当者、研究者に伝えられます。

学内産学共創活動の共創ピッチでは研究者提案で企業側が予想しない新知見の獲得などが可能で、既存事業育成(1→10)と新規事業創出(0→1)の双方で利用できます。

最新の研究者や多様な産学官出身の大学人らと「共に考える」ことで、自社リソースだけでは思いつかない、得ることのできない新たな思考や発見、繋がりなどを得ることができ、社員の人材

・キャリア育成にも大いに役立ちます。

社員や幹部職員等に対するカーボンニュートラルや脱炭素、SDGs教育などとともに、そのビジネスマネジメントを学ぶよい機会ともなります。

企業だけではなく、自治体などの非営利組織の方々にもご活用頂けます(自治体には無料提供中です)。

◆その他

- 1. 本学は東京(千代田区)にも職員が駐在していますので、関東圏の企業や自治体などの方は 、お気軽にご連絡を頂いても大丈夫です。
- 2. プログラムを水面下(世間に対して非公表)で動かしたいという企業側の意向がある場合、 実施期間中はそのように取り扱います。
- 3. 共創ピッチは、秘密保持のもと学内限定・非公開で開催します。また、既に他の企業等と進めている岡大01チャレンジとは、情報の漏洩や企業同士が出会わないなどの配慮を十分に行います。

○詳しいプレスリリースは、下記URLよりご覧ください

https://prtimes.jp/a/?f=d72793-20220927-093272692e435b580ff3795cd9ced838.pdf

◆参考情報

・内閣府「国立大学イノベーション創出環境強化事業」に採択

イノベーションエコシステムの構築を加速(岡山大学新着ニュース)

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news id9724.html

· 【岡山大学】文部科学省令和3年度「国立大学経営改革促進事業」に採択

~イノベーション・エコシステム構築に向けた大学収入構造改革を推進~

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000270.000072793.html

・【岡山大学】統合的リスクマネジメント(ERM)の構築・運用に向け、役員・教職員が事業継続プロフェッショナル(ABCP)資格を取得

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000052.000072793.html

·【岡山大学】いまの時代により強く求められる事業継続を担うプロフェッショナル人材の育成 を加速

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000013.000072793.html

・【岡山大学】医療系オープンイノベーション・プログラム「BIZEN-

プロジェクト」が活動開始!

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000386.000072793.html

・【岡山大学】岡山大学病院医療系オープンイノベーション・プログラム「BIZEN-プロジェクト」BIZENラボ 満員御礼

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000632.000072793.html

・【岡山大学】岡山県吉備中央町が「国家戦略特別区域(デジタル田園健康特区)」に指定されました ~国立大学法人岡山大学が参画~

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000601,000072793.html

・【岡山大学】「デジタル田園健康特区」事業構想等を通じた地域課題解決の先駆的モデル構築 に向け、吉備中央町と連携・協力に関する協定を締結しました

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000639.000072793.html

・岡山大学広報「いちょう並木」Vol.100を発行 デジタル田園健康特区

吉備中央町が指定、岡山大学が参画

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news id11386.html

◆本件お問い合わせ先

岡山大学イノベーションマネジメントコア(オープンイノベーション機構)/研究推進機構 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学津島キャンパス 本部棟

TEL: 086-251-7112

E-mail:ura-info⊚okayama-u.ac.jp

※ ◎を@に置き換えて下さい

https://www.orsd.okayama-u.ac.jp/

<関東圏など(岡山県域以外)の企業や自治体等の方>

岡山大学東京オフィス

E-mail: norito-satoh@cc.okayama-u.ac.jp

岡山大学メディア「OTD」(アプリ):

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000011.000072793.html

岡山大学メディア「OTD」(ウェブ):

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000215.000072793.html

岡山大学SDGsホームページ: https://sdgs.okayama-u.ac.jp/

岡山大学SDGs〜地域社会の持続可能性を考える(YouTube):

岡山大学Image Movie (YouTube):

「岡大TV」(YouTube): https://www.youtube.com/channel/UCi4hPHf jZ1FXqJfsacUqaw

岡山大学『THEインパクトランキング2021』総合ランキング

世界トップ200位以内、国内同列1位!!

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000070,000072793,html

岡山大学『大学ブランド・イメージ調査2021~2022』「SDGsに積極的な大学」中国・四国 1 位!!

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000373.000072793.html

岡山大学『企業の人事担当者から見た大学イメージ調査2022年度版』中国・四国1位!!

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000122.000072793.html

国立大学法人岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」を支援しています。また、政府の第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞しています

Generated by ぷれりりプレスリリース

https://www.prerele.com